

科目名	歴史			担当教員	内田由理子, 直 義和		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08G02_20040	単位区別	履修単位
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	地球の視点から多面的に物事を考える能力：世界の歴史の展開を、広い視野に立って多面的・多角的に捉えさせ、地球世界の課題についても考察する能力を育成する。与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力：多様な資料に親しみコンピュータや情報通信ネットワークなどを活用するなど、情報や技術を主体的に活用する学習活動を重視するとともに、観察・見学及び調査・研究したことを発表したり報告書にまとめたりする作業的・体験的な学習を取り入れ学習効果を高めるよう工夫する。						
履修要件							
	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
学習内容				年間の授業を通して、学習教育目標「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を培っていく			
	1 文明のはじまり	(2)		農業と牧畜の発生により世界各地に都市文明が生まれていった。また文字は文明を発展させ伝達する役割をはたしていく。このように世界各地には独自の地域世界が形成されていった。人類の残した古代文明と地域世界の展開にはどのような特色がみられるのか、オリエント文明、地中海文明、中国文明を中心に学ぶ			
	2 オリエント文明の形成	(2)					
	3 ギリシア世界とオリエント	(2)					
	4 ローマ帝国と地中海世界	(2)					
	5 中国文明の形成	(2)					
	6 秦漢帝国の形成と遊牧国家の動向	(3)					
	7 隋唐帝国と東アジア諸民族の活動	(2)					
	8 前期中間試験	(1)					
	9 試験返却, イスラーム国家の成立	(2)		遊牧民はすぐれた指導者と共通の目的をもつと、その勢力を拡大していった。商人による交易活動は海に陸にと広がり、複数の地域結び付け世界を、融合・統合していく役割を果たした。これまでみたユーラシア諸地域世界の歴史を、地域間の活発な交流を中心としたヨコのつながりに目を向けながら学ぶ			
	10 軍人政権の時代とイスラーム文化	(2)					
	11 ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界	(2)					
	12 西ヨーロッパ世界の成立	(2)					
	13 ヨーロッパ世界の変動	(2)					
	14 契丹・女真と宋の抗争	(2)					
	15 モンゴル帝国の興亡(2)	(2)					
	16 前期期末試験	(1)					
	17 試験返却, 授業評価アンケート, 明清帝国の繁栄	(2)		大航海時代、南北のアメリカ大陸ではヨーロッパ世界による大規模な開発がすすんでいった。逆にアメリカからは砂糖、綿花、銀等がヨーロッパにもたらされる。また産業革命により工場での安価な大量生産が可能となったり大陸のあいだの移動を早めていく。各地域世界はどのように変化していったのか学ぶ			
	18 大航海時代とアメリカ・アフリカ(2)	(2)					
	19 ルネサンスと宗教改革	(2)					
	20 近代主権国家の成長	(3)					
	21 産業革命	(2)					
	22 フランス革命とナポレオン	(2)					
	23 世界市場の形成と世界の分割	(2)					
	24 後期中間試験	(1)					
	25 試験返却, 第一次世界大戦とロシア革命	(3)		資本主義世界が発展し競争を活力源とする経済システムが登場すると、空間と資源をめぐる世界規模での争いが生じ、またエネルギーや資源枯渇問題が発生した。世界戦争と環境破壊の時代20紀とはどのような時代であったか学ぶ			
	26 アジアの独立運動と革命	(2)					
	27 第二次世界大戦	(2)					
	28 戦後世界の形成と変容	(2)					
	29 21世紀の課題	(2)					
	30 学年末試験	(1)					
31 試験返却	(1)						
評価方法	定期試験, 提出物 (ノート, プリント, レポート類) や学習活動等で総合評価する						
関連科目	日本史, 政治経済, 地理, 国語 (漢文)						
教材	教科書: 向山 宏 他著「高等学校改訂版世界史B」第一学習社						
備考	特になし						